



JVCA
Japan Venture Capital Association

金融庁 「ベンチャーキャピタルに関する
有識者会議」資料

資料3

日本ベンチャーキャピタル協会 活動のご紹介

2026年6月18日

一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会

理事 白木信一郎（あいざわアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長 CEO）

VC/CVC投資家の業界団体として、各種啓蒙活動を実施

- 2002年設立、415社の主に投資企業が集う業界団体。共同会長 郷治友孝（東京大学イッジキャピタルパートナーズ代表）田島聡一（ジェネシア・ベンチャーズ代表）以下、23名の理事にて運営
- スタートアップ投資専門のベンチャーキャピタル（VC）だけでなく、大企業の投資部門であるコーポレート・ベンチャーキャピタル（CVC）も登録
- 2024年4月より金融庁・経済産業省にて開催された「ベンチャーキャピタルに関する有識者会議」に参加し、11月に発表された「ベンチャーキャピタルにおいて推奨・期待される事項(VCRHs)」の策定に協力
- GPの実務能力向上に加え、VCRHsに記載されている、コンプライアンス・ダイバーシティ・「フィデューシャリー・デューティー」に関する業界内の教育啓蒙活動を実施
- ベンチマークの整備、公正価値導入、DDQ作成など、VC投資家層拡大に向けた取組を行う

独立系・金融系VC

INCUBATEFUND

GLOBIS
Capital
Partners

UTEC



大学系VC

KYOTO-ICAP
KYOTO UNIVERSITY INNOVATION CAPITAL Co., Ltd.



東大IPC
Innovation Platform for The University of Tokyo

CVC（事業会社）

NTT
docomo
NTT DOCOMO Ventures, Inc.

CyberAgent
Capital
Sony Innovation Fund

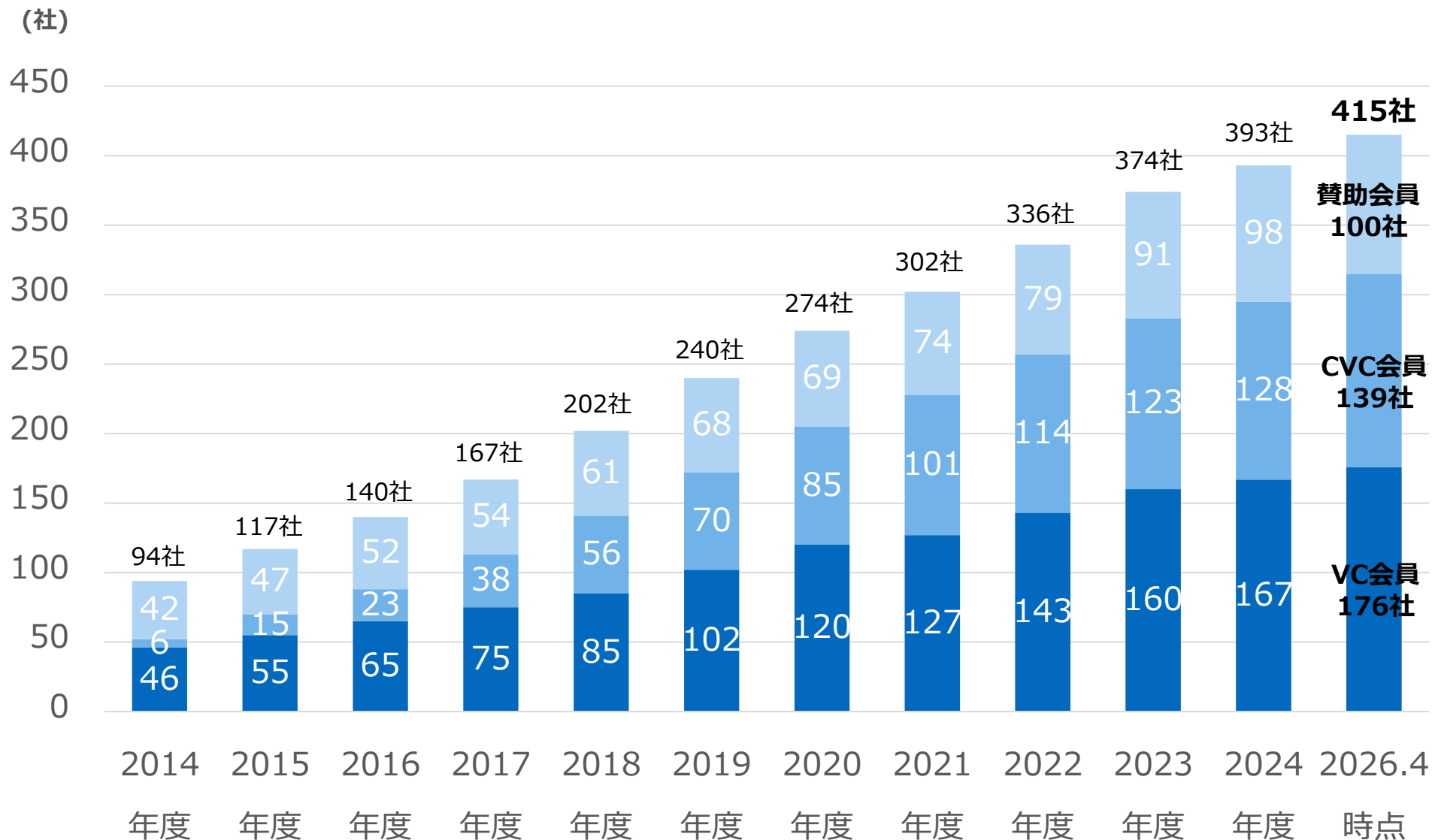
Marubeni
Ventures

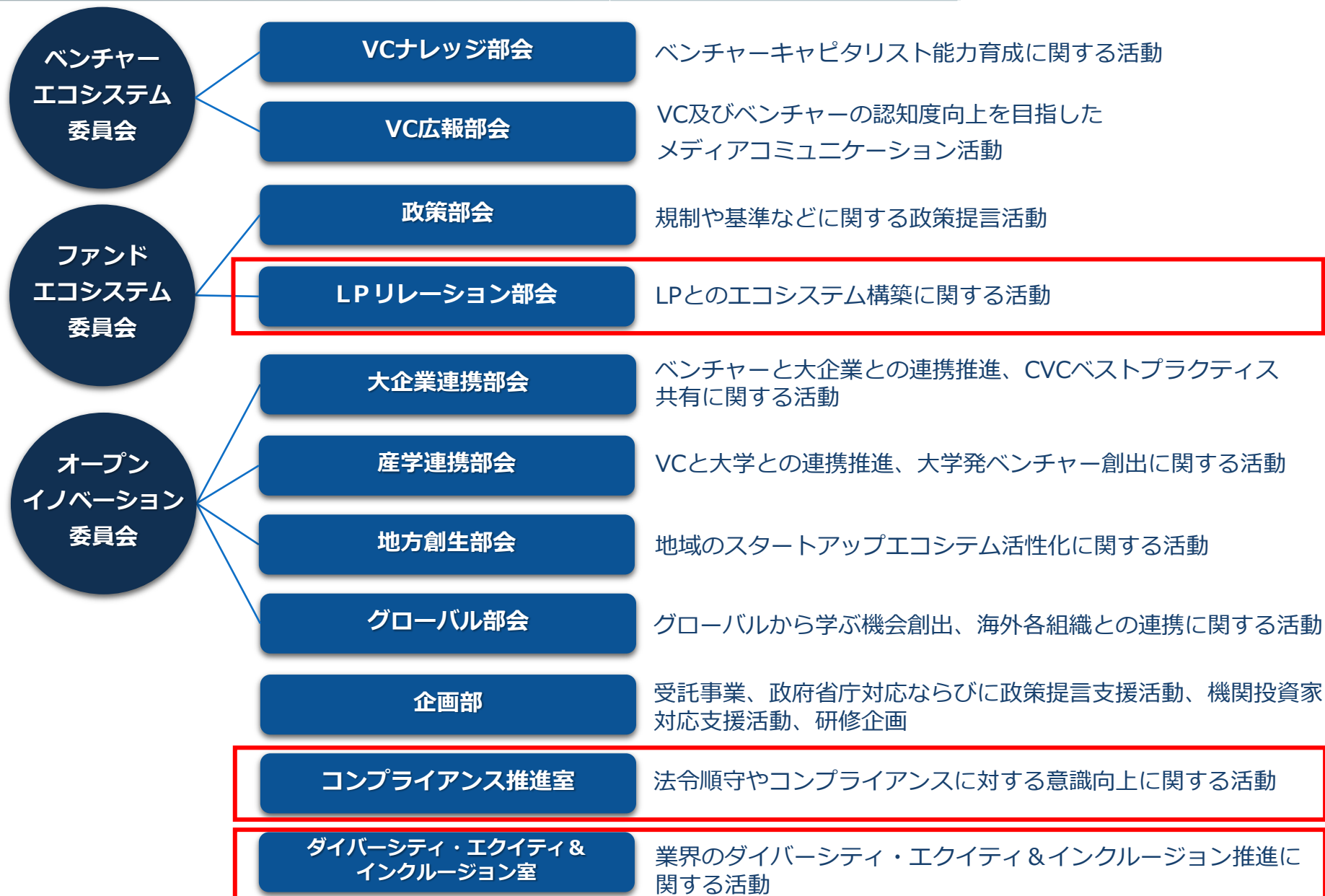
Spark Your Journey
KDDI

Jera

三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

会員数は増加を続け、現在VC/CVC会員で315社、計415社の団体に





機関投資家資金の当該アセットクラスへの流入増を目指し、各種インフラ整備と啓蒙を実施

- 機関投資家の要請を受けて、2020年6月よりデータ提供会社であるPreqin社と共同で初めて作成・発表した「国内VCパフォーマンスベンチマーク」は毎年継続的に改訂を行い、2025年12月には第7回データをリリース
- 第7回では、会員企業で当ベンチマーク調査の対象となるGPのうち、71社から227ファンド（第6回の62社・206ファンドより更に増加し、金額ベースの市場カバー率は75%に至る）の協力を得て、2010～2024年組成のファンドについて、IRR、ネットマルチプル等のパフォーマンスデータの中央値をビンテージごとに公開

図表2：中央値ベンチマークテーブル (2023年12月末時点) **

ビンテージ	ファンド数	PIC (%)	DPI (%)	RVPI (%)	ネットIRR (%)	ネットマルチプル (X)
2010年	3	100.0	214.6	0.0	11.7	2.15
2011年	7	100.0	133.0	1.2	22.0	1.60
2012年	3	100.0	345.4	79.5	27.1	4.25
2013年	7	100.0	164.2	10.2	14.2	2.23
2014年	6	100.0	138.6	44.3	13.1	2.14
2015年	17	100.0	53.9	67.8	12.2	1.94
2016年	17	100.0	38.0	99.6	11.6	1.51
2017年	12	100.0	9.3	105.4	5.3	1.27
2018年	24	100.0	10.0	140.2	13.3	1.57
2019年	19	95.0	3.0	108.4	4.9	1.26
2020年	18	67.3	0.0	94.5	-1.8	0.96
2021年	16	56.8	0.0	93.7	n/m	0.94
2022年	20	35.4	0.0	92.0	n/m	0.92
2023年	14	11.4	0.0	95.5	n/m	0.95

*国内VC市場の統計は、2024年6月時点におけるPreqin Proのデータに基づき推定。国内GPにより運用される日本特化型VCファンド（2000年～2023年ビンテージ/コモン/グロウ/クロスドエンド）を別表。募集中ファンドのコミットメント総額は継続的な目録ファンドサイズに基づき推定。比較の対象がより本ベンチマークの趣旨に沿ったものとなるよう、金融機関や事業会社傘下のキャプティブファンドをはじめ、政策投資または戦略投資目的と考えられるファンドや特定の投資家（グループ）のみで構成されるファンド・二人組合等は国内VC市場の統計から除いている。なお、構成ファンドにターゲットファンドが含まれることから、国内VC市場の統計にもターゲットファンドを含めている。 **ベンチマーク作成には、各ビンテージ最低3本のファンドが必要。ファンド数が3に満たないビンテージは非表示 (n/a = Not Applicable)。ファンド組成から年数が長い時点でのIRRの高値にあまり意味はないため、直近3年間のIRRは非表示 (n/m = Not Meaningful)。

※必ずしもIFRS、US GAAP、FAS 157、またはIPEVガイドラインに従った公正価値に基づく指標ではないため、これらの指標は他国または他地域との国際比較には適さない。

各指標の中央値を示すものであり、DPIの中央値とRVPIの中央値を足した数値は必ずしもネットマルチプルの中央値と一致しない (DPIで中央値に当たるファンド×RVPIで中央値に当たるファンド)。

出所:Preqin-JVCA国内VCベンチマーク調査 (2024年5月実施)

ベンチマークデータ提出VCは増え続け、業界カバー率が向上

■ (第7回) ファンドデータご提供会員企業71社 (社名五十音順)

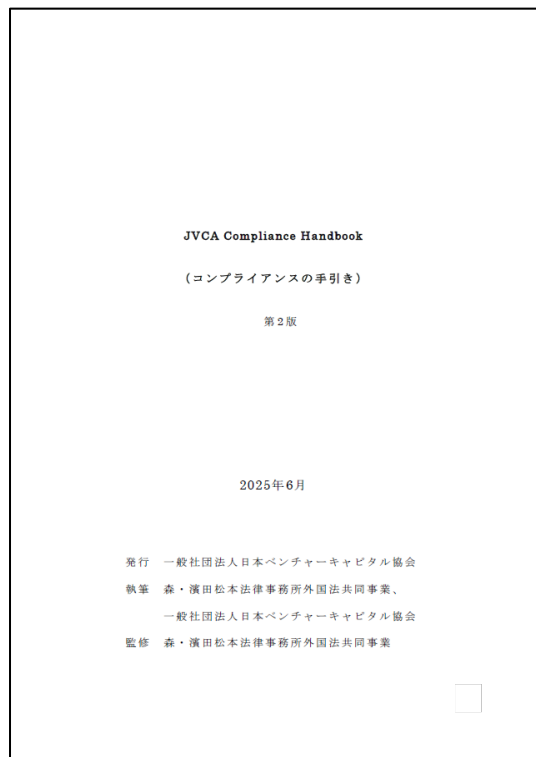
Archetype Ventures合同会社 / i-nest capital株式会社 / 朝日メディアラボベンチャーズ株式会社 / 株式会社ANOBAKA / Abies Ventures株式会社 / UntroD Capital Japan株式会社 (旧リアルテックホールディングス株式会社) / ANRI株式会社 / 伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社 / インキュベイトファンド / インクルージョン・ジャパン株式会社 / 株式会社エーススタート / SBIインベストメント株式会社 / 株式会社MPower / Angel Bridge株式会社 / 大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社 / ON&BOARD株式会社 / 株式会社環境エネルギー投資 / 株式会社キャピタルメディカベンチャーズ / QBキャピタル合同会社 / 京都大学イノベーションキャピタル株式会社 / 株式会社Global Hands-On VC / グローバル・ブレイン株式会社 / グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社 / XTech Ventures株式会社 / 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ / 株式会社ケップルグループ / Coral Capital / 株式会社サムライインキュベート / 株式会社ジェネシア・ベンチャーズ / ジャフコグループ株式会社 / 新生キャピタルパートナーズ株式会社 / スカイランドベンチャーズ株式会社 / STATION Ai株式会社 / STRIVE株式会社 / スパークス・アセット・マネジメント株式会社 / Spiral Capital株式会社 / 栖峰投資ワークス株式会社 / 大和企業投資株式会社 / 株式会社DGインキュベーション / D3合同会社 / D4V合同会社 / 株式会社ディープコア / DIMENSION株式会社 / 株式会社Dual Bridge Capital / 株式会社デライト・キャピタル / 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTECH) / 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 / 東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社 / DRONE FUND株式会社 / 一般社団法人日本スタートアップ支援協会 / 日本ベンチャーキャピタル株式会社 / 合同会社PKSHA Technology Capital / Partners Fund / B Dash Ventures株式会社 / Beyond Next Ventures株式会社 / ファーストライト・キャピタル株式会社 (旧株式会社UB Ventures) / 株式会社ファストトラックイニシアティブ / フェムトパートナーズ株式会社 / フォースタートアップスキャピタル合同会社 / 株式会社basepartners / ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社 / Bonds Investment Group株式会社 / マネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社 / みやこキャピタル株式会社 / 株式会社みらい創造インベストメンツ (旧株式会社みらい創造機構) / 合同会社Miraise / 株式会社mint / モバイル・インターネットキャピタル株式会社 / ユナイテッド株式会社 / ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社 / ライフタイムベンチャーズ合同会社

公正価値評価採用VCの増加を目指し、大手監査法人が参加する勉強会等を実施

- (ベンチマークデータより) 公正価値評価を採用しているファンドもしくは180日以内の直近ファイナンス価格で評価しているファンドの割合は本数ベースで22%、金額ベースで48%を超えており、国際比較できるGPが増えつつある
- 公正価値の導入ならびに機関投資家資金のお預かりに関する各種勉強会を実施
 - 「VCファンド公正価値評価勉強会
～ファンドの公正価値評価を実施・試行する公認会計士とキャピタリストの集い～」
監査法人のご協力を得て、公正価値評価の採用を検討・取り組んでいるVC、公正価値評価採用VCファンドの監査に従事・関心のある公認会計士の方との勉強会
 - 「VCパフォーマンスベンチマークセミナー」
機関投資家LPの方々に登壇いただき、当該アセットクラスへの期待について語っていただく
- 国内機関投資家に留まらず、海外機関投資家へ我が国VCアセットクラスの魅力を伝えるため、2024年11月アメリカ、2025年11月に香港へ渡航。PE/VC関連の現地セミナーに登壇し、エクスポージャーを高めると共に、現地の機関投資家・ファミリーオフィスとの直接対話を実施

VCRHs収録の「コンプライアンスハンドブック第2版」を全会員に配布

- ▶ 業界としてのより一層の法令順守やコンプライアンスに対する意識向上の必要性を鑑み、コンプライアンス推進室を立ち上げ、21年に初めて作成した「JVCA Compliance Handbook（コンプライアンスの手引き）」の改訂版となる第2版を25年6月にとりまとめ、会員各社に配布
- ▶ 第2版では「ベンチャーキャピタルにおいて推奨・期待される事項(VCRHs)」の内容も収録



目次	
序文	7
1. 本書の目的	8
2. 利用方法	8
3. コンプライアンスとの向き合い方	8
第1章 ベンチャーキャピタリストにとってのコンプライアンス	10
1. コンプライアンスとは	10
2. 起業者とベンチャーキャピタリストにとってのコンプライアンス	10
3. コンプライアンス管理システム	11
(1) コンプライアンスとは	11
(2) リーダーシップとコミットメントの重要性	12
(3) 内部ルール化と役割分担	13
(4) PDCAを回す	13
4. ベンチャーキャピタリストにとってのコンプライアンス	13
第2章 関連法規制の概要	15
1. 金銭商品取引法	15
(1) 適格機関投資家等特例業務	15
(2) その他の規制	19
2. Anti-Money Laundering (見込法・反社関連)	20
(1) 見込法の基礎	20
(2) リスク評価	20
(3) 顧客管理 (カスタマー・デュー・ディリジェンス:CDD)	21
(4) 疑わしい取引の届出	23
(5) ペナルティ	23
(6) 反社会的勢力の排除について	23
3. 外為法	24
(1) 規制の概要	24
(2) 対内直接投資等	25
4. 個人情報保護関連	26
(1) 個人情報保護に関する各種規定	26
(2) 具体的な問題となる場面	27
5. 投資先の上場後の法規制 (インサイダー取引規制等)	28
(1) ベンチャーキャピタルと上場株式会社に関する規制	28
(2) インサイダー取引規制	29
(3) 短期待利益等に関する規制	30
(4) 大規模有価証券	30
ケーススタディ インサイダー取引	33
第3章 投資勧誘・適合性のチェック	35
1. 投資勧誘と適合性	35
2. 投資家の種別	35

DE&Iに関する各種ガイドラインの作成、ハラスメントポリシー表明必須化を実施

- 2021年10月、ダイバーシティ・イニシアティブを発足し、イベントのダイバーシティポリシーを設定、24年1月「DE&I推進のための行動規範」および「多様性の向上に向けた数値目標」を、同年3月に「JVCA DE&Iガイドライン」を発表。同年6月、理事・委員のマイノリティ*比率30%を実現
- 2024年4～9月に、会員向け第2回DE&I調査を実施。アンケート調査に加え、会員各社所属の個人へのフォーカスインタビュー調査も実施
- 2024年9・12月「ハラスメント根絶およびDE&I推進に向けた会員各社へのお願い」にて、ハラスメントポリシー表明の必須化と、ハラスメント相談窓口の設置推奨を行う

日本ベンチャーキャピタル協会(JVCA) DE&Iガイドライン

2024.3.27 策定

JVCAがDE&Iを重視する背景

Diversity, Equity, and Inclusion(以下、DE&I)は、SDGsの一環として企業パフォーマンスを左右する重要な課題の一つであるにも関わらず、起業家や VC をはじめとしたベンチャーコミュニティにおいてその意識はまだ大きくない。その一方で、DE&Iの重要性をしっかりと認識し、本気で取り組むことが出来れば、予想以上のスピードで変革を遂げる可能性は大きい。それゆえ、起業家にとつての重要なステークホルダーである VC の業界団体である JVCA では率先して DE&I に本格的に取り組むことで、日本のスタートアップ全体に SDGs を根付かすことをゴールとすると共に、最終的には世界における VC の業界団体でもっとも SDGs に向き合う団体になることを目指す。

JVCAが目指すDE&Iとは

DE&Iとは「D: Diversity (多様性)」「E: Equity (公平性)」「Inclusion (包摂性)」のこと。DE&Iは、多様な個人が自分らしく、それぞれの個性や強みを発揮し、互いに刺激し合い今までにない価値の創造とイノベーションを実現するために必要不可欠であるとJVCAは考える。

JVCAではDE&Iを以下のように定義する。

D (Diversity, 多様性)

一人一人のメンバーの多様な個性、個性とは内面的、外面的なジェンダー、人種、民族、宗教、性的指向、年齢、障がい、バックグラウンドなどあらゆる違いを尊重し、違いに価値を見出し、受け入れること。

E (Equity, 公平性)

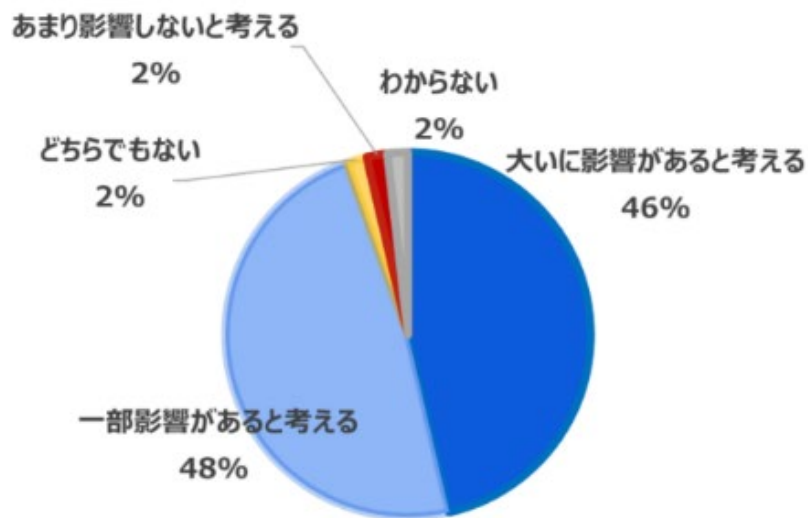
公平性とは多様なメンバーが公平・公正な機会を与えられ、それぞれの夢を実現するチャンスがあること。必要とするツール、情報、人的ネットワークや様々なサポートが公平に与えられ、動機づけがされることで、VC業界ひいてはスタートアップ業界を活性化できる土台をつくること。

I (Inclusion, 包摂性)

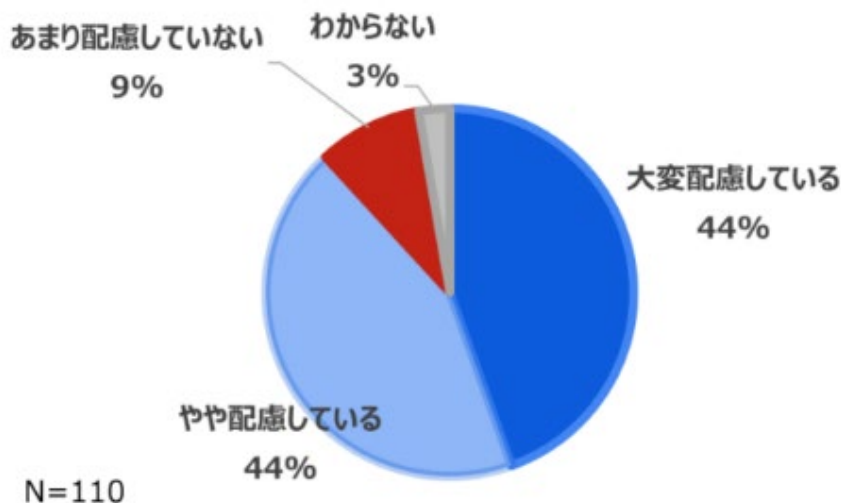
一人一人のメンバーの多様な個性と価値観を尊重し、十分な活躍と貢献ができるよう、能力を最大限伸ばし目的を達成できるよう個々人が振舞うとともに、組織的・社会的な環境を醸成すること。その結果、創造性や革新性が増大し、より良い投資判断を通じた新たなビジネス創出ひいては日本・世界の経済・社会の発展に貢献すること。

回答した会員の9割が、ダイバーシティ促進がパフォーマンスに影響を及ぼす重要事項と認識

質問：ダイバーシティ促進が企業評価やVCのパフォーマンスに影響を及ぼすと考えていますか



質問：貴VC/CVCでは採用・組織構成・その他制度などにおいて、組織のダイバーシティに配慮していますか



■ JVCA DE&I調査

<一次調査> アンケート形式

実施期間：2024年4月24日～5月31日

対象：VC・CVC会員（286社）

回答数：110社（回答率38%）

ハラスメント・DEIに関する勉強会を継続的・複層的に実施

- ▶ 業界としてより一層の法令順守およびコンプライアンスについての理解促進、ハラスメント撲滅ならびにダイバーシティへの理解促進のため、各種勉強会を実施
 - 2025年1月「ダイバーシティ(DE&I)・ハラスメント勉強会」には業界内から350名以上の方が参加
 - 2025年5月「初級キャピタリスト研修」のプログラムに、新たに「ダイバーシティ(DE&I)・ハラスメント」講座を追加
 - 2025年6月「幹部向けダイバーシティ(DE&I)・ハラスメント研修」を新規創設。JVCA理事・委員全員が先行受講し、その後会員各社の幹部が参加した

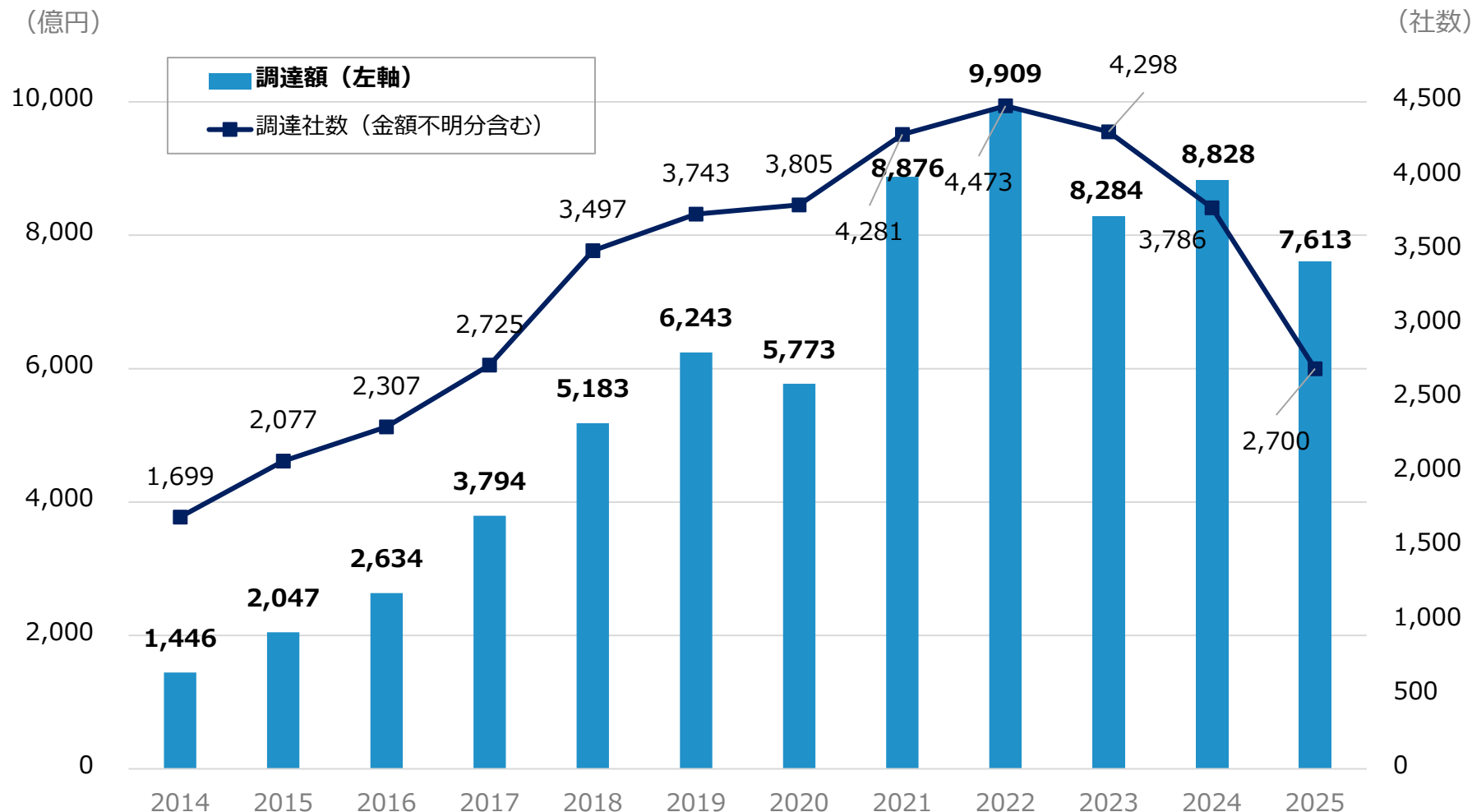


「アセットオーナー/ゲートキーパー・ベンチャーキャピタルミートアップ」の開催

- 「ベンチャーキャピタルにおいて推奨・期待される事項」の公表を受け、2025年2月金融庁・経済産業省・JVCAの共催にて、初となる「アセットオーナー/ベンチャーキャピタルミートアップ」を開催
- 2026年2月にも「アセットオーナー/ゲートキーパー・ベンチャーキャピタルミートアップ」と改名し継続実施。アセットオーナー（LP）とGPとの直接対話の場として大きな評価を受けている



我が国スタートアップによる資金調達総額は増加傾向（2025年は前年比14%減）

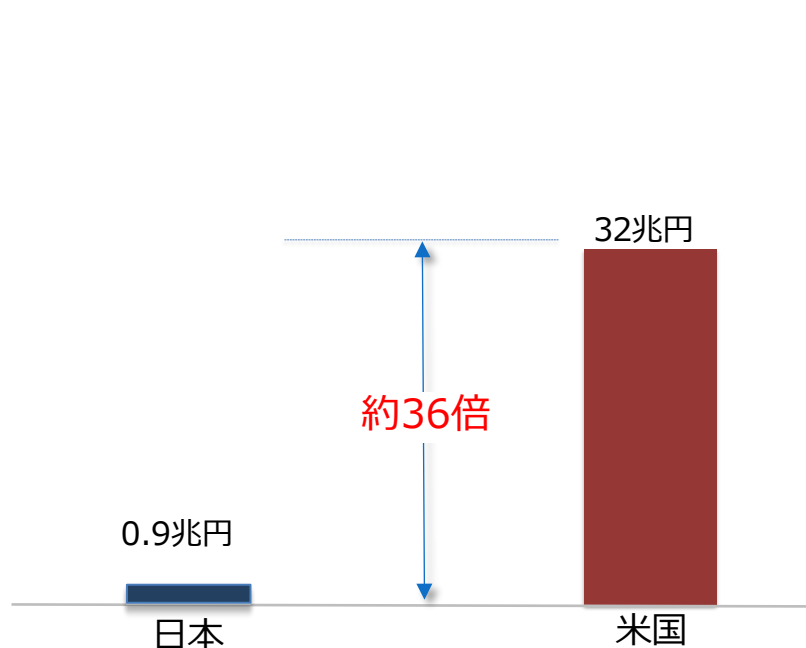


注1) 各年の値は集計時点までに観測されたものが対象

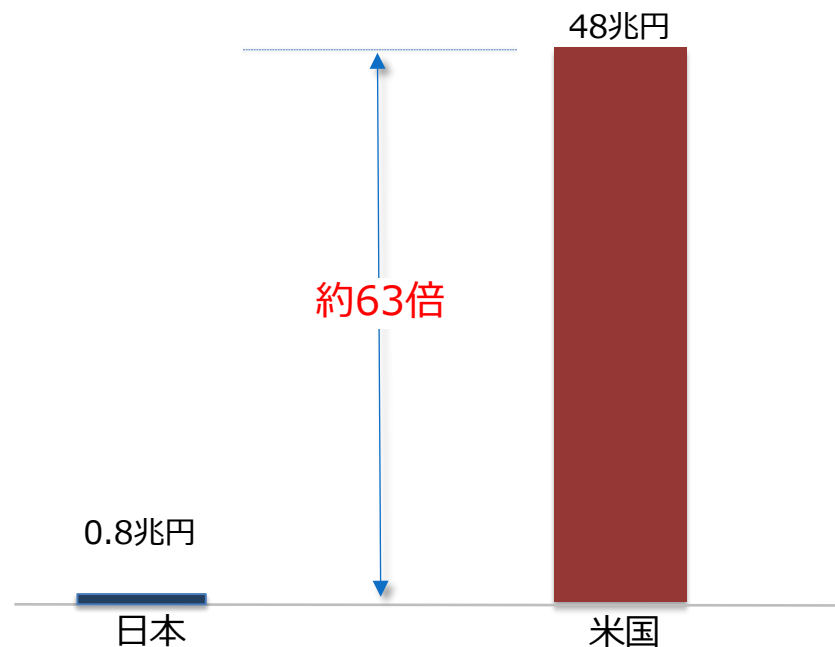
注2) 今後の調査進行により過去含めて数値が変動し、その影響は直近年や金額が小さい案件ほど受けやすい
出所) スピーダスタートアップ情報リサーチ (2026年1月18日時点)

スタートアップ投資額は米国との比較では30~60倍と差が開いている

2024年スタートアップ投資額比較



2025年スタートアップ投資額比較



出典) 日本: INITIAL (2026年1月18日基準)
米国: PitchBook-NVCA Venture Monitor *As of December 31, 2025

日本円換算為替レートUSD=150円にて換算

一般社団法人
日本ベンチャーキャピタル協会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門5-9-1

麻布台ヒルズ ガーデンプラザB 5階

■TEL:03-6432-4667

■FAX:03-6432-4664

■E-mail : info@jvca.jp

■Homepage : <http://www.jvca.jp>

